日・チリ首脳会談の結果に関する共同プレスリリース（骨子）

令和8（2026）年11月
外務省南米課

※断りがない限り、主語は両首脳

1　総論

- 戦略的パートナーシップの下、経済、防災、天文、科学技術、環境、文化・学術、防衛といった幅広い分野において日・チリ間の二国間協力が深化していることを歓迎。
- 2027年の日・チリ外交関係樹立130周年に向けて、二国間関係を更に発展させていくことを確認。また、共同記者発表において、130周年記念ロゴマークを発表。
- チリ国内の幅広い分野で活躍し、両国の架け橋として重要な役割を果たす日系社会の貢献を高く評価。
- 「日・チリパートナーシップ・プログラム（JCPP）2030」に基づく第三国への三角協力を引き続き強化していく決意を再確認。



日本・チリ外交関係樹立
130周年記念ロゴマーク

2　自由で開かれたインド太平洋（FOIP）

- 太平洋を挟んだ海洋国家である日本とチリにとって、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化が極めて重要であるとの認識を共有。
- カスト大統領は、日本の進化したFOIPの原則を認識し、アジア太平洋地域における平和、安定及び繁栄を維持することの重要性を強調。

3　経済・経済安全保障

- 日本の次世代通信技術を活用した銅鉱山での共同プロジェクトをはじめ、具体的な経済協力の進展を歓迎。
- 貿易措置の関連国際約束との整合性を確保することにより、世界的なサプライチェーンの強靱性と安定性に貢献する、銅を含む重要鉱物分野での二国間協力の更なる強化に向けてコミット。
- 高市総理は、新たなビジネス機会の創出、二国間の貿易・投資関係の深化及び両国の民間セクター間のパートナーシップ強化を目指すチリの「Choose Chile」イニシアティブを歓迎。
- 国際情勢が一層厳しさを増す中、ルールに基づく自由で開かれた国際経済秩序を維持・推進するための協力を進める強い決意を再確認。
- 環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（CPTPP）の重要性及び、同協定が地域と世界の安定と繁栄に多大な利益をもたらすことを再確認。協定の高い水準を維持しつつ、CPTPPの戦略的拡大、協定の更新及び強化並びに貿易投資対話を通したEU及びASEANとの関与の深化に向けて、引き続き緊密に連携をしていく意図を確認。

4　科学技術・デジタル・南極における協力

- カスト大統領の訪日の機会に、二国間協力の強化、信頼できるデジタル連結性を向上させる、安全で信頼できるデジタルインフラやICTソリューションの発展を推進する、「情報通信技術（ICT）分野における協力覚書」が署名されたことを歓迎。南極条約体制の重要性を再確認し、南極に係る二国間協力の深化に向けたコミットメントを表明。

５　防衛協力・交流

- カスト大統領は、平和国家として国際社会の平和と発展の確保に向けた日本の一貫した取組を評価。
- 地域及び国際的な課題について意見交換を行い、防衛分野におけるパートナーシップの強化が極めて重要であることで一致。昨年８月に署名された協力覚書に基づく二国間の防衛協力及び交流の着実な積み重ねを歓迎。
- カスト大統領は、高市総理のリーダーシップの下、地域及び世界における平和、安定、協力及び発展を促進する上で日本が果たす重要な役割を強調。

６　地域・国際情勢

- 北朝鮮の核・ミサイル開発計画及び悪意あるサイバー活動に対する深い懸念を共有し、関連する国連安保理決議等に従った北朝鮮の完全な非核化へのコミットメントを確認し、拉致問題の即時解決の重要性を再確認。
- 国連海洋法条約（UNCLOS）に反映された国際法に従い、航行の自由や紛争の平和的解決を含む海洋を規律する基本原則を堅持することの重要性を認識。